

【理科】

- 教科書表紙のQRコードでは、全学年の教科書のQRコードの内容を見ることができます。
- 理科の学習が、教科書にあるように「見つめる」→「調べる」→「ふり返る」という流れで進むことを児童に知らせましょう。
- 単元のはじめにある「考えてみよう」をノートに書き写し、自分なりの予想を書いてから教材を読み進めると、課題意識をもった学びになります。
- 気づいたことや文章中の太字、「まとめ」の視写なども有効な学びにつながります。
- QRコードが付いている箇所があり、学習内容の補充やヒントとして役立てられます（機器の使い方や実験装置の作り方、動画など）。また、6年の教材の中には、プログラミング教育に関わるシミュレーションを体験することができるQRコードもあります。
- 単元のはじめの「思い出してみよう」に付いているQRコードでは、既習内容に関わる教科書の記述等を見ることができ、学習の準備に役立ちます。
- 単元末の「まとめノート」を視写したり、参考にして自分のまとめページを作成したりすることで、学習内容の確認ができます。



【外国語活動・外国語】

(3・4年生)

- 家の人と一緒に教科書のイラストを見ながら、数字や色、動物や食べ物の名前などを英語で言ってみましょう。

(5・6年生)

- QRコードが教科書及び Picture Dictionary (ピクチャーディクショナリー) に約 200 箇所用意されているので、それらを活用して音声を聞くことができます。
- 教科書右上の Let's Sing. Let's Chant. のQRコードを使い、英語の歌やチャンツを聞くことができます。
- 5年生「日本のすてき」、6年生「世界のすてき」のコーナーのQRコードを使って、日本や世界の動画と英語での話を聞くことができます。問いもあるので、音声を聞いて考えてみましょう。また、紹介されている地域を地図帳で調べてみることで、社会科と関連付けて学習することもできます。
- Picture Dictionary (ピクチャーディクショナリー) のQRコードを使って、音声を聞きながら単語の発音を練習してみましょう。



外国語活動・外国語における「書く」活動については、「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写す」ということが学習指導要領解説に示されています。音声で十分に慣れ親しむことが難しい場合は、「聞く・話す」活動を重視し、英語を聞いたり声に出して発音したりする学習を行うことが大切です。



家庭学習と日々の授業がつながっていることは、子どもたちの学びに向かう姿勢や意欲を向上させます。家庭学習に教科書を活用することで、授業との連動が容易になります。そのような家庭学習にするためにも、「教科書っておもしろい。」「教科書をもとに自分で学習できるって楽しい。」と、子どもたちが感じられるようにしていきましょう。